

3. ペット連れやファミリーにも優しく、多様なニーズにお応えする地域共生型モール

① 多様なお客様のニーズにお応えする体験施設・設備

充実のペットファシリティ

ペット入店可能店舗数は 114 店舗と中京圏の商業施設で No.1 を誇ります。また「OKAZAKI MARKET」内の「山田農園」が運営するドッグランに加え、館内にはリードフック・足洗い場・うんちBOXなどのペットファシリティを完備しているほか、館内にはペット関連 3 店舗が出店。大切なペットと一緒にお買物を快適にお楽しみいただけます。



日本初

P's-first

PET PARADISE



ペットファシリティ イメージ

キッズパーク(アウトレットゾーン)

アウトレットゾーン1F 中央のキッズパークには幅広い年齢層に対応可能なバラエティ豊かな遊具を設置。さらに、キッズゾーンに面して、有料の室内遊び場である「スキッズガーデン」も出店予定です。

日本初



「キッズパーク」CG

館内 4 か所 大型デジタルサイネージ付き イベントスペース

館内 4 か所のイベントスペースには大型デジタルサイネージを設けます。スポーツのライブビューイングなど多様な使い方が可能です。



「アウトレットゾーン」CG

② 地域共生型モール

地域向けコミュニティスペース「おいでんラボ」の新設

本施設内にはコミュニティスペース「おいでんラボ」が誕生します。コミュニティマネジメント業務は株式会社ファイアープレイス、コミュニティ運営業務は同社、並びに、岡崎市でカルチャースクール「暮らしの学校」を運営する EGAO GROUP が担当し、ワークショップやイベントの開催など、地域のまちの皆さまの「発信の場」「交流の場」としてご利用いただけます。「おいでん」とは三河地方の言葉で「いらっしゃい」という意味です。まちの皆さまにこの場所にお越しいただくことで垣根を超えた出会いやつながりが生まれ、ひいてはこの施設のファンとなっていいただくことを目指しています。



「おいでんラボ」外観 CG



「おいでんラボ」内観 CG

館内共用通路装飾「OKAZAKI STREETS」の取り組み

共用通路 3 か所にはそれぞれコンセプトを設けて壁面装飾を施し、お買物の合間の移動時間を豊かに彩ります。

<Community Street>

2024 年 12 月から約半年間、工事現場の仮囲パネルを彩った装飾デザインを開業後の館内に残す取り組みです。COMMUNITY STREET では仮囲装飾で地域の皆さまのご協力を得て行った、以下の取り組みの一部を紹介しています。

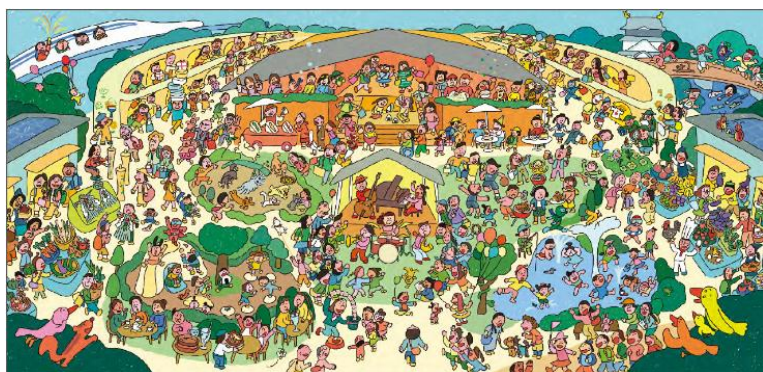
- ・西三河エリアで学生時代を過ごしたイラストレーターかたぎりあおい氏による岡崎の過去・いま・未来を描いたイラスト
- ・岡崎市立本宿小学校・岡崎市立山中小学校の生徒による俳句作成イベント
- ・「岡崎城下家康公秋まつり」で実施した、地域のファミリーの皆様による写真撮影イベント

<Sound Street>

岡崎市本宿で幼少期を過ごした日本におけるシンセサイザーの第一人者・富田勲氏の人生・功績を紹介するとともに、岡崎市内の小中学校の校歌を含む同氏が作曲した楽曲のプレイリストを再生します。プレイリストには、今回新たに収録する、岡崎市立本宿小学校の生徒による合唱音源も使用予定です。また同氏が先駆者として知られている立体音響を体感できるシーティングスペースも設置し、偉人の功績を目と耳で感じることができます。

<Green Street>

太陽光発電量などの本施設での環境配慮の取り組みについて、分かりやすい数字を用いてご紹介します。



かたぎりあおい氏作 未来(本施設開業後)の岡崎のまち



「Sound Street」CG

岡崎市との包括連携協定の締結

当社と岡崎市は、相互連携の強化による岡崎市のより一層の活性化を目指し、2025 年 9 月 11 日に包括連携協定を締結いたしました。岡崎市の「広域観光交流拠点」に指定されている本施設は、「アウトレットモール」という商業施設プラットフォームを活かし、産業・観光の振興、雇用促進、市産品の魅力発信、子育て支援、文化・スポーツの振興等について相互に連携協力することで、地域活性化を目指してまいります。

また施設内には岡崎市の PR コーナーも設置予定で、ご来館のお客さまへ岡崎の魅力を発信いたします。

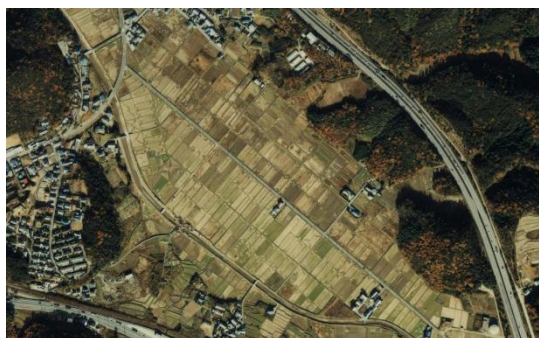


(左：三井不動産 執行役員 肥田雅和 / 右：岡崎市長 内田康宏様)

地域の原風景を意識した建築・外構デザイン、地元産材の採用や三河/岡崎の潜在植生種・適合種の選定

本施設の建築意匠は、自然豊かなこの地になじむ色彩を用いて、木目調をふんだんに取り入れたデザインとしています。また、本施設開発前の敷地が田んぼとして利用されていたことを踏まえ、田んぼの形状や配置を参考に一部「田んぼグリッド」をコンセプトとした、土地の記憶を残す舗装デザインを取り入れています。

館内には岡崎市産の石を加工したサインやベンチ、岡崎市産の木材を使用した家具などを配置しています。また沿道緑化や敷地緑化を積極的に行う中で、三河/岡崎の潜在植生種・適合種を中高木約 180 本、低木約 11,300 株を植樹するなど、地域環境との共生を目指します。



開発前の敷地 空撮写真 ※提供)国土地理院



岡崎市産の石



岡崎市産材の焼印デザイン

③ 利便性向上に向けた取り組み

■シャトルバスの運行

名鉄名古屋本線 本宿駅と本施設間で、20～30 分間に一本の間隔でシャトルバスを運行します。 ※運行のない時間帯もございます。

■公共交通機関の利用促進

開業期には公共交通機関をご利用いただいたお客さまへの特典をご用意のうえ、公共交通機関の利用を促進します。



シャトルバス イメージ